

東北地方深海産魚類の稀種Ⅳ  
ホウキボシエソ科の1稀種ホウキボシエソ

丸 山 圭 右  
(東北海区水産研究所八戸支所)

Rare deep-water fishes from off Tohoku and adjacent regions. IV.

Record of a rare species *Photostomias guernei*

COLLETT of the Family Malacosteidae

Keisuke MARUYAMA

(Hachinohe Branch Laboratory, Tohoku Regional Fisheries Research Laboratory)

本種は最初 Hironnelle 号によつて 1887 年 6 月 30 日にアゾレス沖、北緯 38°34'30"、西経 30°43'30" の水深 1,138 m から採集され、その名前 *guernei* はその時生物学者の資格でモナコのアルバート公に随伴して乗船していたパリの Guerne 男爵を記念して名付けられたという (COLLETT, 1889: p. 293) 珍奇な魚である。

本種は大西洋、カリブ海に分布し (REGAN and TREWAVAS, 1930) 本邦近海からも既に今井貞彦博士 (1957) によつて駿河湾産の 3 標本が明らかにされている。

筆者も八戸支所が東北近海の底魚資源調査に附随して採集した記録不明の 1 個体 (全長 87 mm) と昨年 (1958) 8 月 19~20 日に八戸沖底曳漁区 176、水深 450 m から採集したスケトウダラの胃袋から摘出された、のみ込んでまもないものと思われる美事な 1 個体 (全長 123 mm) の 2 標本を得たので報告する。

本文に入るに先立ち文献の閲読に特別の便宜を賜つた東海区水産研究所阿部宗明博士に深甚なる感謝の意を表す。

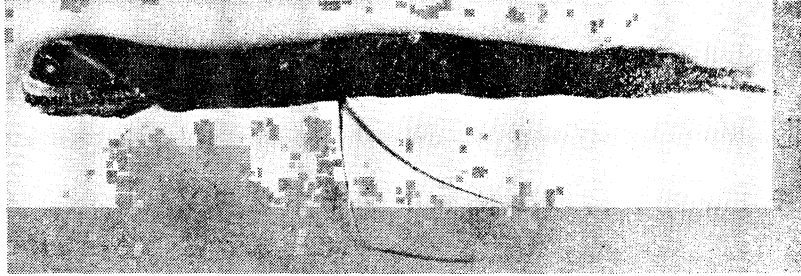
ホウキボシエソ

*Photostomias guernei* COLLETT (Figs. 1 & 2)

記載は大型標本を主にし、小型標本値を括弧値で示した。

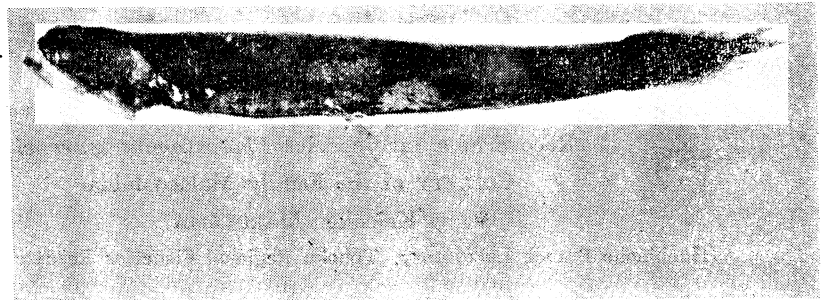
背鰭は 24 軟条、臀鰭は 27 軟条、腹鰭は 6 軟条、第 1 鰓弓下枝上の鰓耙数は 9 (10) 本。体長 (尾鰭を除く) は体高の 11.83(8.00)倍、頭長の 5.92(5.60)倍、上顎長の 6.25(5.79)倍、下顎長の 7.50(5.60)倍、吻端から背鰭起部までの 1.24(1.25)倍、腹鰭長の 2.04(4.00)倍。頭長は吻長の 9.50(10.00)倍、眼径の 3.75(3.76)倍、両眼間隔の 3.46(2.73)倍、上顎長の 1.06(1.04)倍、

下顎長の 0.95(1.00)倍, 背鰭基底長の 1.12(1.15)倍, 臀鰭基底長の 1.00(1.07)倍。眼径は吻長の 1.50(2.66)倍, 眼後部発光器の 0.86(1.14)倍。両眼間隔は眼径の 1.83(1.38)倍。吻端から腹鰭起部までの距りは腹鰭起部から臀鰭起部までの距りの 1.17(1.11)倍。尾柄長は尾柄高の 1.20(1.50)倍。



← Fig. 1. *Photostomias guernei* COLLETT from stomach of *Theragra chalcogramma* (PALLAS). Total loughth 123mm.

→ Fig. 2. *Photostomias guernei* COLLETT from off Tohoku and adjacent Regions. Total length 87 mm.



体は延長側扁し鱗がなく, 肛門は尾鰭に近く臀鰭の前に位置している。頭は側扁し, 頭蓋は小さく, 垂直的に動く。吻は短かく, 触鬚はない。口裂は僅かに斜で著しく大きい。1つの長い弾力のある筋肉系が舌骨から下顎骨縫合部に連結している。歯は不等で彎曲して尖り, 上顎には 22(26)本(上顎前骨上に 8(10)本)を算え, その中でも第 2 番目のものが最も長い。下顎骨には 17(20)本, 前端には 2本の長い対歯(この対歯が両顎歯中最長)をもっている。口蓋骨は 3(5)本の 2小歯列をもつ。鋤骨には歯がない。眼は適度の大きさでその前縁下に 1小発光器をもち, またその後部にも 1つの大きな長楕円形の発光器をもっている。背鰭は著しく後位で尾鰭に近く臀鰭と対生している。胸鰭はない。腹鰭は吻端から臀鰭起部までの殆んど中央に位置し, 長い繊糸状に伸びて臀鰭中央部を越える(臀鰭近くに達す)。その第 6 鰭条は短かく殆んど他の 5 鰭条の基底長と同じ間隔を置いて生ずる。鰓蓋は斜に巾広くさげ, 鰓耙は非常に小さく殆んど下枝をとりまく寒天様皮膜の中に埋没し, 僅かに尖つた頭を出している 1本の外に, 順次内側に小さな 2本が横帯を形成して 1群をなす。体側下腹部には 2列に並ぶ発光器群をもち, 各列の発光器数は次の通りである。側部列: 鰓蓋後部から腹鰭起部までに 14(16)個, 腹鰭起部から臀鰭起部までに 20(21)個, 臀鰭起部から尾鰭までに 15(16)個。腹部列: 峽部から腹鰭起部までに 20(20)個。腹鰭起部から臀鰭上部(第 7 軟条の上)までに 23(23)個。

体色(ホルマリン漬)は紫黒色で眼の後部発光器は乳白色, 各鰭条は淡黒色を帯びる。小型標本では体色は褐色で, 吻並に尾部が黒味を帯び各鰭条は淡黄色を呈する。

附記 REGAN and TREWAVAS (1930)によると眼の前下方の発光器は雄にのみ存在し, 眼径は雄では頭長の 1/4, 雌では 1/5~1/6 で, 眼の後部の発光器は雌よりも雄の方が著しく発達している等の点で雌雄が識別されるという。筆者の観察標本は何れも眼前部に発光器をもち, 眼径は頭長の

1/4 に相当するので雄の特徴を示している。尚 COLLETT (1889), REGAN and TREWAVAS (1930) 並に今井 (1957) の記載値と観察標本値の比較を表一に示したが、観察標本では眼が少々小さくまた側部列の臀鰭起部～尾鰭までの発光器数が少々多い点を除くと殆んどよく3氏の記載と一致する。

表一 COLLETT, REGAN and TREWAVAS 並に今井の記載値と観察標本値との比較

項目	COLLETT (1889)	REGAN and TREWAVAS (1930)	今井 (1957)	観 察 標 本	
				全長 123mm	全長 87mm
体各部の割合					
体長と体高	8.5*	7.5~11	6.2	11.83	8.00
体長と頭長	5.5*	4.8~6	7.3	5.92	5.60
頭長と眼径	5.5	4.0~7.5	5.8	3.75	3.76
鰭条数					
背鰭軟条	24	23~28	23	24	24
臀鰭軟条	27	26~33	26	27	27
腹鰭軟条	1/5	6	6	6	6
発光器数					
側部列：	51				
鰓蓋後部～腹鰭起部		13~16	16	14	16
腹鰭起部～臀鰭起部		21~24	20	20	21
臀鰭起部～尾鰭		12~14	13	15	16
腹部列：	46				
峡部～腹鰭起部		20~23	22	20	20
腹鰭起部～臀鰭起部		22~24	23	23	23

註) \* 印値は全長との比較値

文 献

COLLETT, R. 1889 : Poissons nouveaux provenant des campagnes de l'hirondelle. Bull. Soc. Zool. France, 291—293.

GOODE, D. B. & BEAN, T. H. 1895 : Oceanic Ichthyology. U. S. Nat. Mus., Special Bulletin Atlas, 113—115. fig. 140.

NORMAN, J. R. 1925 : Discovery Report., ii, 317.

PARR, A. E. 1927 : Scientific results of the third Oce. Exp. of the "Pawnee" 1927. The stomatoid fishes of the suborder Gymnophatodermi (Astonesthidae, Melanostomiidae, Idiacanthidae) with a complete review of the species. Bull. Bingham Oceanogr. Coll., 3, Art, 2, 102—104, fig. 13.

REGAN, C. T. & TREWAVAS, E. 1930 : The fishes of the families Stomiidae and Malacosteidae. The "Dana" Exp. 1920—22 in the North Atlantic and Gulf of Panama. Oce. Rep. edited by the "Dana"—Committee, (6), 133—137, pl. XIII, 1.

今井貞彦 1957 : 駿河湾及び相模湾産のホテイエソ類 (Stomiidae) について. 水産学集成, p. 562, fig. 14.

Résumé

In this paper is given description of a rare deep-water fish *Photostomias guernei*

COLLETT of the family Malacosteidae that was collected in connection with a survey of bottom fish resources of Hachinohe Branch Laboratory.

This species has been recorded already by Dr. S. IMAI (1957) from Suruga Bay, in Japanese water.

One of the specimens examined bears no data excepting for the record that it was collected from off Tohoku and adjacent regions. Its total length is 87 mm. Other specimen was taken out from the stomach of *Theragra chalcogramma* (PALLAS) that was taken by the bottom trawl without otter board on Aug. 19—20, 1957, from a depth of 450 m at the fishing grounds section No. 176, off Hachinohe, Aomori Pref. Its total length is 123 mm. These specimens have characters of the male form that were described by REGAN & TREWAVAS (1930), and the body proportions well agree with COLLETT's, REGAN and TREWAVAS's and IMAI's description except for a few difference of the diameter of eye and the number of the lateral photophores.